

みなさん、こんにちは。今日は「お金がない日本人」についてお話します。

多くの外国人のみなさんは、「日本人はお金持ちだ」と思っているかもしれませんが。

でも、今の日本は少しちがいます。昔よりも生活が大変な人がふえています。

どうして日本人はお金がないのか。今、どんな生活をしているのか。これからお話していきます。

## 1. 日本人の本当のお金の話

日本は豊かな国ですが、実は「見えない貧しさ」が問題になっています。

この貧しさというのは、周りからは分かりにくいお金の悩みのことです。

日本では7人に一人が、生活に必要なお金が足りないと言われています。

特に、一人で子供を育てるお父さんやお母さんは、大変なことが多いです。

また、おじいさんやおばあさんが増えたことも、理由の一つかもしれません。

日本で働く人の年収は、平均すると460万円です。でも、この数字は平均の金額です。

実際には、ほとんどの人が平均より少ないお給料で、毎日の生活をしています。

また、貯金がまったくない家庭も少なくありません。これは心配なことです。

四つの家族が集まると、そのうちの一つの家族は貯金がゼロなんです。

一人で暮らしている人は、もっと大変かもしれません。貯金がない人が増えます。

20代で一人暮らしの若い人たちを見てください。彼らは10人中4人は貯金がありません。

どうしてお金がない人がこんなに多いのでしょうか。働き方が理由の一つです。

会社には、正社員とパートやアルバイトで働く人がいます。

パートやアルバイトは、働く時間が短い仕事です。給料は少し安くなります。

働く人の中で10人中、4人がパートやアルバイトです。

正社員の平均の年収は530万円です。でも、驚かないでください。

パートやアルバイトの人は、平均で200万円くらいです。330万円も違います。

それに、ボーナスという特別な給料がなかったり、会社のサポートが少なかったりします。

昔の日本では、多くの人が会社でずっと働きました。給料も毎年上がっていきましました。

でも、今は違います。パートやアルバイトが増え、給料が上がりにくいです。

さらに、お店に並んでいる物の値段が上がっています。生活がもっと大変になりました。

2022年ごろからお菓子やパンの値段が高くなったり、サイズが小さくなったりしました。

給料は変わらないのに、払うお金は多くなります。だから生活が苦しくなるのです。

例えば、前は100円だったジュースが、今は130円になっている感じです。

これはほんの一例です。電気やガスの値段もとても高くなっています。

電気代は、2025年4月ごろに値上げした会社が多いです。さらに家計が苦しくなりました。

生活に絶対に必要な物が、どんどん高くなりました。みんなの大きな悩みです。

特に東京のような大きな街に住んでいると、生活にお金がかかります。

一人で部屋を借りると、家賃だけで8万円くらいかかることも普通です。

ごはんを食べるお金や、電気や水道のお金もちろん別に必要です。

だから、お給料をもらっても家賃などを払うと、残るお金は多くありません。

そこから食費や光熱費、携帯電話代などを払います。自由に使えるお金は少ないです。

だから、たくさんの方が将来のためのお金を貯めることが難しいのです。

本当は貯金をしたいけど、毎日の生活をするので精一杯の人が多いです。  
これが、今の日本のお金に関する本当の話です。多くの人が困っています。

## 2. 若者とお金の問題

日本では、特に若い人たちがお金の問題で、たくさん悩んでいます。

学校を卒業したばかりの、20代の若者たちの話を見てみましょう。

多くの若者は大学に行きます。でも、大学の授業料はとても高いお金が必要です。

四年間で400万円以上かかることもあります。これは大変な金額です。

だから、たくさんの学生が奨学金というお金を借ります。これは、国や学校から借ります。

奨学金は、学校にいる間お金の心配をしないで勉強ができる仕組みです。

でも、この奨学金はプレゼントではありません。卒業後に返さなくてはなりません。

つまり、借金と同じです。多くの若者が卒業の時に大きな借金を背負います。

大学を卒業して会社で働き始めます。そこから返済が始まります。

毎月2万円から3万円を、15年や20年もかけてずっと返し続けるのです。

お給料の中から毎月お金を返すのはとても大変なことです。

これが、若者の生活を苦しめている大きな理由の一つです。

また、働き方にも若い人を悩ませる問題が隠されています。

さきほどお話したように、パートやアルバイトで働く若者が増えました。

こういう働き方だとお給料が安くて、毎月の収入も変わります。

だから、将来の計画を立てることが難しいです。来月いくらもらえるか分かりません。

中には、働き方がとても大変な会社もあります。休みが少なかったりします。

毎日、朝から夜遅くまで一生懸命働いても、お給料はあまり増えません。

心や体が疲れてしまって、仕事を辞めてしまう若者も少なくないのです。

こういう状況だから結婚を考えられない若者も増えています。

結婚して、新しい生活を始めるにはお金が必要です。そのお金を貯められません。

子供を育てるのにももっとたくさんのお金が必要になるでしょう。

自分の生活だけで精一杯で、家族を持つ自信がないと多くの若者が感じています。

だから、日本では結婚する人が減ったり、子供の数が減っています。

趣味や遊びに使うお金もあまりありません。我慢することが多いです。

友達と旅行に行ったり、好きな服を買ったりするのも簡単ではないのです。

でも、そんな中でも若い人たちは工夫して生活を楽しんでいます。

お金をあまり使わずに、楽しめることを見つけるのがとても上手になりました。

例えば、高い物を買わずに必要な時にだけ、借りるサービスを使う人がいます。

車や自転車、洋服などもみんなで使うサービスで安く利用することができます。

物をたくさん持たず、シンプルな生活を送る人も最近は増えてきました。

自分の部屋にある物をできるだけ少なくしてすっきりと暮らすのです。

そうすると、お金もかからず心の満足も得られます。新しい考え方ですね。

昔は、高い車に乗ったりブランドの物を持つことが豊かさのしるしでした。

でも、今の若い人たちは物を持つことよりも、経験を大切にします。

友達と一緒に過ごす時間や何かを学ぶ経験のほうが、価値があると考えます。

お金がないからこそ、生まれた新しい考え方がそこにはあるのかもしれない。

大変な状況はありますが、若者たちは自分たちらしく生きる方法を探しています。

### 3. なぜ給料は上がらないか

どうして日本の給料は、長い間上がらないままなのでしょう。

そこには、日本の歴史と社会の大きな変化が深く関係しています。

昔の日本の会社では、働き方が今と大きく違っていました。

一度会社に入ったら、定年という歳になるまでずっと働くのが普通でした。

これを終身雇用と言います。会社が社員の生活を最後まで守ってくれました。

そして、お給料は年齢が上がるのと一緒に少しずつ上がっていきました。

長く働けば働くほど、給料が高くなる仕組みです。これを年功序列と呼びます。

会社がどんどん大きくなり、日本の経済も元気だったからできたことでした。

でも、約30年前に日本の景気が急にとても悪くなりました。

バブルの崩壊と呼ばれます。多くの会社がお金を失って大変でした。

この大きな出来事が日本の働き方を変えるきっかけになったのです。

会社は生き残るために、社員に払うお金を減らさなければいけません。

そこで、会社は給料が高い正社員を少しずつ減らしました。

その代わりに、給料が安いパートやアルバイトの人をたくさん雇い始めました。

こうして、会社では非正規雇用の人がどんどん増えていったのです。

会社にとっては払うお金が少なくて済みます。でも、働く人は大変です。

給料を毎年上げることも難しくなりました。会社の元気がなくなったからです。

また、世界との競争も給料が上がらない理由の一つになっています。

インターネットが広まって世界中の会社がライバルになりました。

外国には、日本よりも、ずっと安い給料で働く人たちがいます。

その人たちが作る物は、値段をとて安くできます。日本の会社は困りました。

日本の会社も競争に勝つため物の値段を安くしないといけなくなったのです。

物の値段を安くするには材料費などを減らします。そして人のお給料もです。

だから、日本の会社は社員の給料をなかなか上げることができません。

さらに、日本にはデフレという問題も長く続きました。

デフレというのは、物の値段が下がり続ける状態のことです。

物の値段が下がると、会社のもうけが減ります。だから給料も上がりません。

給料が上がらないからみんなはお金を使いません。物が売れなくなります。

物が売れないから、会社はもっと値段を下げます。悪い流れが続きました。

働く人たちの気持ちも少しずつ変わりました。これも影響しています。

給料を上げてください、と会社に強く言うよりも仕事を失うほうが怖いのです。

だから、給料が安くても我慢して働き続ける人がとても多くいました。

でも、ごく最近になってほんの少しだけ状況が変わり始めました。

物の値段が上がったので、政府が会社に対して給料を上げるよう頼んでいます。

これを賃上げと言います。ニュースでもよく聞く言葉になりました。

いくつかの大きな会社では、給料を上げる動きが少しだけ出てきました。

でも、残念ながらほとんどの中小企業では給料を上げるのが難しいです。

中小企業というのは、働く人が少ない小さな会社のことです。

日本にある会社のほとんどがこの中小企業なのです。だから、全体の給料は上がりません。

上がったとしても物の値段の上昇のほうがずっと大きいのです。

結局、給料は少し増えても生活は楽にならない、それが今の日本の状況です。

このように、日本の給料が上がらないのにはたくさんの理由があります。

昔の経済の問題や、働き方の大きな変化が複雑に関係しているのです。

#### 4. 節約を楽しむ日本の文化

生活が大変な中でも日本人はただ我慢するだけではありません。

毎日を楽しく過ごすためお金の使い方を工夫する文化が生まれています。

これは「節約」と呼ばれます。でも、暗いものではなくゲームのような感覚です。

まず、一番大切なのは毎日の食事です。ここには工夫がたくさんあります。

多くの会社の方が、お昼ごはんの時に弁当を持ってきます。

弁当というのは、家で作ったお昼ごはんです。弁当箱に入れます。

外のお店で食べるよりもずっとお金がかかりません。それに、健康的ですね。

朝、お父さんやお母さんが家族のために弁当を作るのはよく見る光景です。

また、買い物にもたくさんの知恵があります。スーパーマーケットに行くと分かります。

夕方や夜になると、お魚やお肉、お惣菜にシールが貼られます。

これは「値引きシール」です。賞味期限が近い商品を安く売るための印です。

多くの主婦や仕事帰りの人が、この時間をねらって賢く買い物をします。

100円ショップもみんなが大好きな節約の味方でしょう。

お店に売っている物がほとんど100円という夢のようなお店です。

文房具や食器、食べ物まで生活に必要な物が何でもそろっています。

最近では、100円なのにとても質が良い物が多く外国人もたくさん訪れます。

買い物をする時には、ポイントを貯めることも当たり前になりました。

お店のポイントカードや、スマートフォンのアプリでポイントを集めるのです。

これを「ポイ活」と呼びます。ポイント活動の短い言葉ですね。

貯まったポイントはお金と同じように使えます。1円や1ポイント単位で使えます。

少しずつポイントを貯めて欲しかった物を買うのは、とてもうれしい瞬間です。

物を買う時だけでなく、物を手放す時にも新しい文化があります。

もう着ない服や、使わなくなった物は捨てない人が増えました。

リサイクルショップに持って行ってお金にしたりフリマアプリで売ります。

フリマアプリというのはスマートフォンで簡単に物を売買できる仕組みです。

自分が要らない物が他の誰かの欲しい物になる。とても良い考え方ですね。

新しい物を買う時も中古品を選ぶ人が多くなりました。

本やゲーム、洋服など中古でもきれいな物が安く手に入ります。

物を大切に長く使うという考え方が広がっています。

お金をかけない休日の過ごし方も上手です。楽しいことはたくさんあります。

天気の良い日には、近くの公園に行っのんびり過ごします。

図書館に行って無料で本や雑誌を借りるのも、素晴らしい時間の使い方です。

大きな図書館には映画が見られる場所もあり、一日中楽しめます。

家で過ごす時間もとても大切にしています。「おうち時間」と呼びます。

Netflixで映画やドラマ、アニメを見たり、ゲームをしたりします。

友達を家に呼んで、みんなで料理を作るのもお金のかからない楽しみです。

このように、日本の人々は節約を「やらされるもの」とは考えていません。

どうやったらもっとお得か、もっと楽しくできるかと、ゲームのように考えています。

お金がないから不幸なのではなく、お金がない中でどう豊かに暮らすか、その知恵を大切にしているのです。

## 5. みんなで支え合う仕組み

個人で節約するだけでなく、社会全体で助け合う大切な仕組みもあります。

もしもの時も大丈夫なように、国や地域が人々を支える仕組みがあるのです。

例えば、日本の医療保険は世界でも素晴らしい仕組みだと言われます。

日本では、すべての人が必ず医療保険に入ります。だから、誰もが安心です。

この保険のおかげで、病気やけがをしても安いお金で病院に行けます。

治療費は少しかければ大丈夫です。残りは保険が出してくれます。

お年寄りになった時の生活を支える年金もとても重要な仕組みです。

年金というのは、働いている時に少しずつお金を国に納めることです。

そして、お年寄りになったら国から毎月お金がもらえます。生活を助けてくれるのです。

もし、会社を辞めたり、仕事がなくなったりしてもすぐに生活に困りません。

雇用保険という仕組みが次の仕事が見つかるまでお金を払ってくれます。

だから、焦らないで新しい仕事を探すことができるのです。

本当にどうしようもなく生活が苦しくなったら国が直接助けてくれます。

これを生活保護と言います。健康で文化的な最低限の生活を守ります。

これは国民の大切な権利です。最後の助けになってくれます。

国や市役所だけでなく、普通の人々も助け合いの活動をします。

NPOという団体などが、色々な問題の解決のため一生懸命に活動しています。

例えば「子ども食堂」は地域の大人が子供たちに温かいごはんを作ります。

無料か、とても安い値段でみんなでおいしいごはんを食べることができる場所です。

一人でごはんを食べる子供たちをなくしたい、そんな思いから始まりました。

また、「フードバンク」という素晴らしい活動もあります。食べ物を大切に  
活動です。

まだ食べられるのに捨てられてしまう食べ物を集めて、人々に届けます。

食べ物がなくて困っている家庭や施設に、無料で分けてあげるのです。

日本で大きな地震などの災害が起きた時、多くの人助け合います。

ボランティアとして、困っている場所に行って片付けなどを手伝うのです。

「お互い様」という言葉が日本にはあります。困った時は助け合うのが当たり前です。

ここまで、日本のお金の話をしてきました。大変なことが多いです。

給料はなかなか上がらず、生活が苦しい人もたくさんいるのが現実です。

でも、日本人は節約をゲームのように楽しみ、毎日を工夫して生きています。

そして、個人だけでなく社会全体で支え合う優しい仕組みもあります。

完璧な国ではありません。でも、困っている人がいれば誰かが助けようとします。

日本の明るいところと、今日お話したような現実の部分、その両方を知ってください。

そうすれば、きっと日本のことを深く知ることができるでしょう。

お疲れ様でした。最後まで見てくれてありがとうございました。

今日の動画はいかがでしたか？動画の感想や意見をぜひコメントで教えてください。

また、たくさん動画を作れますので、グッドボタンとチャンネル登録、ハイプをよろしくお願いします。

それではまた別の動画でお会いしましょう。